

1

図書委員の早川さんは、皆にもっと本を読んでもらうために、社会で取り組まれている「読書週間」の標語を参考にして標語を作っています。次は、「読書週間」の標語を整理した【早川さんのノート】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【早川さんのノート】

「読書週間」の標語

■ 標語から伝わってくるメッセージと、表現の工夫とその効果について

・ (公益社団法人読書推進運動協議会「読書週間」の標語による。)

〈メッセージ〉↓ ・ お気に入りの一冊をもつことは人生を豊かにする。この機会に本をたくさん

読んで好きな一冊を見つけたいというメッセージが伝わる。

〈表現の工夫〉 ↓ ・ 呼びかけの形で始めることで、読む人の関心を引いているところがよい。とその効果〉 五七五のリズムも親しみがもてる。

・ (右に同じ。)

〈メッセージ〉↓ ・ 秋はさわやかな季節なので、たまには快い風の中で本を読み、リラックスし

た時間を過ごしてみようかというメッセージが伝わる。

〈表現の工夫〉 ↓ ・  を使って、情景を豊かに想像できるようにしている。また、体言止め  
が使われ、秋が強調されている。

・ (右に同じ。)

〈メッセージ〉↓ × 本と旅したり、本を旅したりするのはよいというメッセージが伝わる。

○ 旅の途中で本を読むのは楽しいことだ。また、旅をしなくても、本を読めば未知の世界を知ることができるというメッセージが伝わる。

〈表現の工夫 ↓ ・ 「本」と「旅する」という言葉のつなげ方を一文字変えて繰り返すことで、  
とその効果〉 心地よいリズムが生まれている。

一 【早川さんのノート】の  に入る言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 反復法
- 2 対句法
- 3 擬人法
- 4 倒置法

二 早川さんは、【早川さんのノート】の——線部の内容が不十分であると感じたので、~~~~線部のように直しました。早川さんが直すときに注意したこととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 標語の言葉をそのまま使うのではなく、標語に直接書かれていない作者の思いを想像して書く。
- 2 標語の言葉をそのまま使うのではなく、標語の内容に関連する事柄を様々な方法で調べて書く。
- 3 標語の言葉をそのまま使うのではなく、この標語の優れている点を他の標語と比較して書く。
- 4 標語の言葉をそのまま使うのではなく、これまでに自分が読んだ本の内容と結び付けて書く。

三 早川さんは、次の二つの〈標語〉A、Bを作りました。これらの〈標語〉について、あなたはどのように思いますか。A、Bから一つ選び（どちらの〈標語〉を選んでかまいません。）、選んだ〈標語〉から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉についてのあなたの考えを、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈標語〉

A 心のアンテナ読書で伸ばそう

B その本が未来を示す案内図

条件1 〈メッセージ〉及び〈表現の工夫とその効果〉は、【早川さんのノート】を参考にして具体的に書くこと。

条件2 〈メッセージ〉は、「というメッセージが伝わる。」に続くように書くこと。

条件3 〈メッセージ〉及び〈表現の工夫とその効果〉は、それぞれ四十字以上、六十字以内で書くこと。（文末の「というメッセージが伝わる。」は字数に含みません。）

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

